

Eureka III

六年制通信 No. 13 平成27年7月4日(土)号

子供か大人か

君たちはこの学び舎を卒業すれば大人扱いをされるのですね、と言われて特に違和感はないと思います。普通は中・高の時期に、世の中の営み全般に興味を持ち始めることでしょう。そして卒業すれば、社会に出る、自立する、仕事を持つ、つまり大人になっていく自分を想像することも多いでしょうね。とはいえ、君たちは大学進学をしますから、大学生になるわけですが、世間では大学生は大人として扱われることが多いですね。親元を離れて一人で暮らすことが見込まれますから、何となく高校を出れば大人の仲間入りをするという感覚がありますね。ところが大学生というのは、18歳で入学しますから卒業の途中で法的な成人を迎えます。ややこしいですね。そこでいっそ18歳で成人としようではないかという議論は、実は昔からあるのです。先般、国会で決議されましたが、18歳から選挙権を与えることになりました。対象となる君たち自身はこれをどう思いますか。

プラトンは「政治は大人の扱うものである」と言っていますが、ここで言う「大人」とは、例えば20歳以上を指すといったような、ある年齢より上の人々を大人としているのではなくて、大人とは成熟した人間であるという意味でプラトンは使っているはずです。

さて、選挙権からスタートしたことがどういう理由からかわかりませんが、これから先に、18歳の高校生が法的に大人として扱われるということになると、さて選挙権以外にどういったことが可能になるのか。そして、学校現場ではどのような問題が生じるのか、よくよく考えないといけません。君たちも、選挙のたびに選挙違反のニュースを聞くでしょうが、公職選挙法という法律があるわけですね。買収とか事前運動とか細かい規定があって、違反すると検挙されて実名報道もなされます。これ、万が一、現役高校生の逮捕なんてことになれば、大変な問題ですね。となれば、高校生にも法律の正しい知識が必要になるわけですが、どこで教えるのでしょうか。もちろん学校で教えるのでしょうかね。

飲酒喫煙と高校の校則の整合性はどうするのかといった問題もまた、教育現場としては混乱しそうですね。結婚の問題もあります。親の同意を必要とする年齢も現在法律に決められていますが、これも変わるでしょうからね。法治国家である以上、法を知らなかった、ではすまされません。選挙権でもなんでも、権利を得るということは実は厄介な面もあるようです。君たちは、当事者になるのですから、無関心でいてはいけません。これを機に、様々なことを考えてほしいと思います。

18歳は大人かどうかについては否定的な見解も多いようですが、どうやら18歳から大人にする数々の法案は、選挙権以外に、今後も成立する見通しだと言われている。私の周囲の人々はほとんど「反対」ですが、これは仕事とはいえ高校生と日々接して、その子供っぽい側面ばかりが目につくからかもしれません。また、毎年成人式の幼児化を映像で見ているからかもしれません。マスコミはそんな風景を報道したがりますから、次第に若者を見る目が偏向しているようにも思います。もともと、子供っぽい大人が増えた、などというセリフはもう大げさに言えば太古の昔から言われ続けているのですから、いまさら気にする必要はないでしょうがね。当たり前のことですが、今の世の中には子供の目から見て頼りない大人はいくらでもいるでしょうし、大人から見てしっかりしている18歳もたくさんいます。

さて、18歳で成人という話を聞くと、なんだ「^{かぞ}数え年」になった（戻った）だけではないかと、私は思ってしまいます。数え年って知ってますかね。今では年齢は満年齢を使いますから、知らないかもしれませんね。私の子供の頃は、大人に自分の年齢を言うと「満で？」「数えで？」と聞かれたものでした。明治生まれの祖母は数え年しか認めませんでしたよ。ついさっき一年生に「数え年って知ってるか」と聞いたら「うるう年ならわかります」と答えました。知らないわけですね。これも時代というヤツですな。

数え年は、生まれた年齢を「1歳」とし、1月1日に全員が歳をとるものとします。わかりますか。0歳児は存在しないわけです。例えば9月11日生まれの人は、生まれた瞬間に1歳で、それが9月11日から12月31日まで続き、翌日の1月1日に「2歳」となるのです。生まれて3ヵ月半ほどで「2歳」と数えるのです。お正月は家族全員で年を重ねるわけですね。これが数え年です。ですから、今の君たちの多くはもうすぐ数えで20歳なわけで、成人年齢を18歳に引き下げても、少し昔に戻ったと考えればどうということではないのですね。さらに昔にさかのぼってみれば、江戸時代の武士は成人式（元服と言いました）を15歳で迎えます。このとき前髪を剃ります。兜をつけられるようにするために、すなわちこれで戦場に出られる、やっと一人前になったという証あかしなのですね。また、父親から切腹の作法を教わります。一人前になる前は、仮に切腹をすとしても実際に刀は使わないのですが、元服を終えとちやんとした作法のつとに則のつとって行う必要があります。父親は息子に死ぬ作法を教える、これが成人式です。今のおちゃらけ成人式とは雲泥の差ですわな。

昔の成人が今で言えば中学生とは驚きですが、当時の平均寿命を考えるとそう早くないのかもしれません。40歳で隠居（仕事を辞めること）することはよくあったらしいからね。人間50年と言われた時代です。いまや90歳に達しようかという平均寿命ですから、さて、18歳成人論議は時代にむしろ逆行しているのではないかと考えられます。君たちも自分のこととして考えてみてはいかがでしょうか。